

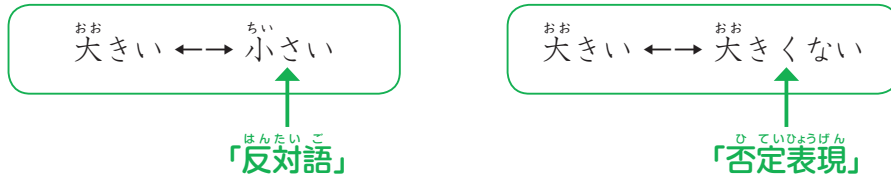
パート②

「くらべる力」 ちから

「対比関係」を整理する力 たいひかんけい せいり ちから



☆ 「大きい」と対比される言葉は、「小さい」または「大きくない」です。



このように「ない」などをつけて否定する場合を、「否定表現」と呼びます。

☆ 「熱い」と対比される言葉と言え、まず「冷たい」が浮かびます。ただし、「ぬるい」など、意味が正反対ではない言葉も対比関係と考えてかまいません。

☆ 「昼は明るい、夜は暗い」という文の「対比の観点」は、「明るさ (明暗)」です。もし、「昼は楽しい、夜は暗い」などとしてしまうと、「楽しさ」と「明るさ」、2つの観点があることになり、意味が分からなくなります。対比では、こうならないよう1つの観点にすること、つまり「観点の統一」が必要です。